

既存港湾施設（1号上屋）活用における 民間活力導入に向けた公募型サウンディング調査結果

芦屋町では、福岡県の地方港湾である芦屋港を観光レジャーの要素をもった地方創生・観光まちづくりの拠点として、芦屋町の観光や産業振興に寄与する「芦屋港活性化事業」に取り組んでいます。

この芦屋港活性化事業において、既存港湾施設である1号上屋の活用に向け、民間活力導入による事業化を目指し、現在調査検討を行っているところです。

芦屋町では、芦屋港活性化事業における民間事業者の参入意向や公募条件を整理するため、民間事業者の皆さんの様々なアイデアやご意見を伺う公募型サウンディング調査を実施しました。

つきましては、本調査の結果について、次のとおり公表します。

1 スケジュール

日時	内容
令和3年10月18日（月曜日）	実施要領公表
令和3年11月1日（月曜日） 令和3年11月22日（月曜日）	現地見学会・説明会
令和3年12月15日（水曜日） 令和3年12月17日（金曜日）	個別対話

2 参加者

区分	申込数
サービス業	2社
総合建設業	1社
合計	3社

3 結果概要

今回の公募型サウンディング調査により、事業アイデアや事業スキーム、事業参入の条件についてご提案をいただきました。

今後、公募型サウンディング調査の結果を踏まえ、事業方式や公募条件の整理・検討を進めます。

(1) 既存港湾施設 1 号上屋について

対話の対象項目	提案及び意見の概要
参入意向及び提案の範囲	・費用負担の条件を含めた事業方式次第では、1 号上屋全体の管理や一部テナントとしての参入意向がある。
事業アイデア	・魚食をテーマとした飲食施設 ・コンテンツを入れ替えできるイベント施設
事業方式	・公共施設を民間事業者が管理する指定管理者制度が良い。 ・P F I (R O) 方式を採用し、民間事業者が 1 号上屋を改修する場合は、民間事業者が改修及びサービス提供に要する費用を行政が負担しなければ P F I (R O) 方式の採用は難しい。
事業期間	・10 年程度
費用負担	・施設整備等の初期投資費用については、すべて行政が負担することを希望する。 ・民間事業者の費用負担については、内装工事の範囲にとどめることが望ましい。

(2) その他芦屋港の施設について

対話の対象項目	提案及び意見の概要
参入意向 対象施設	・費用負担の条件を含めた事業方式次第では、全天候型施設やボートパーク、海釣施設、その他施設について参入意向がある。 また、ボートパーク及び海釣施設の一括管理の意向がある。
事業アイデア	・V R 体験 ・船舶の修理、メンテナンス ・マリンアクティビティ体験
事業方式	・公共施設を民間事業者が管理する指定管理者制度が良い。
事業期間	・10 年程度
費用負担	・施設の整備費用及び維持管理費用の行政負担を希望する。